



石鳥谷学童クラブの元気な子どもたち

国保税における減免策の拡充

所得減少明確な場合は減免措置

問 国保税について、疾病、事業不振、廃業、失業等所得の減少に対する減免要綱を生活実態に合わせ早急に作成すべきと思うが見解を伺う。



照井明子 議員

答 4月現在の障害福祉サービス利用者は461人で、法施行前の3月より4人増、利用者負担額は208万円減である。障害福祉サービス独自の支援策は考えていない。10月からは、地域生活支援事業を実施する。

障害者への支援策

問 障害者自立支援法実施後の実態把握と市独自の利用者負担軽減策や事業所運営支援への見解を伺う。

答 障害者自立支援法実施後の実態把握と市独自の利用者負担軽減策や事業所運営支援への見解を伺う。

総合文化財センターの建設

基本構想を検討し早期に着手



伊藤金人 議員

問 総合文化財センターの建設については、合併協定の重点課題でもあり、早期実現を切望する。市の見解を伺う。

答 総合文化財センターの建設については、合併協定の重点課題でもあり、早期実現を切望する。市の見解を伺う。

ず、新市の文化財行政の中核を成すセンター機能を備えた施設として考えており、そのために、市全体の文化財行政の体制や機能とともに、総合文化財センターの性格や位置付けなど、基本構想の策定について検討しているところである。

星が丘水辺公園の環境整備



箱崎英喜 議員

問 星が丘の水辺公園は、宮澤賢治の作品をモチーフとして設計され、本市の観光スポットとして、市民の散策路・憩いの場として親しまれている。しかしながら現在、土砂がたまり、草木に覆われている状態である。市のしゅんせつと清掃の取り組み予定を伺う。

答 (建設部長) 良好な景観の確保や適切な管理の観点から、毎年地域と協

力しながら川の清掃を行っている。しゅんせつについては、環境への配慮が大切であることから、自然環境との調和を図りながら、必要な箇所について、地元の意見を伺いながら早急に実施し、当地域の快適な空間確保に努める。



枇杷沢川周辺の水辺公園(星が丘)

放棄地等の所有者への対策

社会的責任を環境基本計画に



佐藤かず代 議員

問 放棄地等所有者に対し、景観・安全・防犯・衛生上の観点の社会的責任を環境基本計画に盛り込む必要性について見解を伺う。

答 (保健福祉部長) 住み慣れた地域で細かな介護サービスを受けながら暮らせる施設を市内の事業所が設置した。その利用状況等の把握に努め、情報の提供をしていく。

認知症対策の施設

問 認知症対策として期待される小規模多機能型施設を、本市で十分機能させることについて見解を伺う。

学童クラブ事業への支援策

市民と行政との協働を推進



柳田誠久 議員

問 市内の各学童クラブの運営状況をどう把握しているか伺う。

答 (市長) これまでなされたきた補助内容に関する経過と現状、今後の支援拡充の考えを伺う。

問 (市長) 利用児童数は、平成18年4月現在で662人となっている。市からの委託料と保護者からの保育料を主な収入源として運営されており、旧花巻市においては、平成13年度から市独自のかさ上げ補助を実施している。今後は、支援のバランスを検討しながら、市民と行政との協働で事業を推進していかねばならないと考えている。

家庭の教育力を上げる方策



鎌田政子 議員

問 子どもにとって最初の教師は親である。命の大切さや善悪の判断など、生活習慣などは家族

答 (教育長) 家庭教育の重要性にかんがみ、家庭教育講座の実施、家庭教

育手帳や子育て支援リフレットの配布を行い、家庭教育に関する情報提供に努めている。今後は、現行の施策・事業の見直しを図るとともに、親の方々に理解を深めていただく諸施策を現在策定中の総合計画や教育振興基本計画の策定の段階で検討していく。